

2月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
31	1	2	3 節分	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記念日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28	1	2	3	4	5	6

保健師より

1年で一番寒いと言われる大寒が過ぎましたが、まだまだ2月でも寒い日は続きますね。立春を迎え、他の月より2～3日少ない2月。春を感じられる芝生広場の河津桜が咲き始めるのが楽しみのも1つです。

さて世間はオミクロン株が猛威をふるっています。こども園でも感染者が出て、保護者の皆様にはお仕事の調整などたくさんのご協力をいただきありがとうございました。

現在でもいつ誰がかかってもおかしくない状況です。気の抜けない状況に体も心も疲れが出てきていませんか？つらいとき、心の異変を感じた時は無理して頑張り過ぎずに、小さなことでもいいのでお気軽に園へご相談下さい。

○ 1月の感染症：ウイルス性胃腸炎2名

○ 0歳児乳児健診
つぼみ組のみなさんは、なるべくお休みされないよう願っています。

February 2022

2022.2.1 発行

small alley post

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

2月の保育主題

『小さなつぼみの微笑む顔』

春に向けた目覚めと発表会の緊張感

「RくんとGくんが通じあう」

コロナが早く終息しますように。連日、自宅待機や登園自粛などのお願いにご協力いただきありがとうございます。ここでは一旦コロナから離れて、子どものエピソードを書かせていただきます。

ある日の朝のバタバタと騒がしい時間に起きたできごとです。1歳児クラスのRくんとGくんが2人でままごとのキッチンにならんで立っていました。Gくんがリスの人形を抱え、Rくんは容器の蓋をもちリスの口元へと持っていきます。そのRくんの動きに合わせて、Gくんはリスをギュッと抱きしめていたのを緩めました。Gくんだけのリスから2人のリスに変わりました。2人のイメージが重なった瞬間だったようで、顔を見合わせ微笑み合いました。

しばらくするとGくんがキッチンの蛇口の方へ目をうつし、それに気づいたRくんもそちらに目を送ります。2人の手が蛇口に届き、私は一瞬“その蛇口を取り合うかもしれない”といつでも止められるようにと2人に後ろにそっと近づきました。しかしそんな心配は不要で、2人は一緒に蛇口を動かしてまた笑い合っていました。そしてふっと2人の息がずれると、今度は一人ひとり違う興味の方へ視線を動かし、黙々とそれぞれが遊びます。2人の距離間は変わらないのですが、先ほどのイメージが重なり合ってる雰囲気とは違います。

少しすると一瞬離れた2人の視線Gくんの指さしによって、また重なりました。Gくんがおもちの醤油の入れ物を指さすと、Rくんがそれを手に持ちリスの口へと運びます。

今度は目が合うわけではなく、Rくんの持った醤油の入れ物が口に運ばれると、Gくんが慣れた手つきで蛇口を動かします。“そうそう！もうそっちは任せたぞ！”“こっちは任せろ！”というように、2人のイメージが重なり合った中で、“役割”が生まれたのです。

1歳児は友だちと並んで遊んでいてもバラバラな遊びをすることが多いです。そこから言葉によって少しずつ想像している世界が重なって子ども同士の遊びの時間が長くなっていきます。

2人の遊びが言葉を介さずともくっつき、相手の表情や目の動きで相手を感じ取れるこの姿に羨ましい気持ちになってしまいました。大人になると生きてきた分感情もどんどん複雑になり、意地や見栄など相手とのコミュニケーションを難しくしてしまうことがあります。この2人の姿をみて、日々の自分を見直すきっかけとなりました。

渋谷東しぜんの国こども園 園長
名古屋 彩佳

保育エピソード 「カプラの公園」

朝の集いが終わり、Nさんとカプラを積み上げて遊んでいると、Rさんがカプラの蓋を私たちのところに持って来て、「これで公園が作れるんじゃない？」と言いました。その提案に、私はどんな公園を作ろうとしているんだろうと気になって、「いいね！作ろう！」と3人でカプラの公園作りが始まりました。Rさんは「じゃあこれはここね」、と蓋を床に置きます。そして、その上に電車の荷物を釣り上げる道具や岩の形をした置き物にカプラをのせたものを置いていきました。「ここがブランコで、ここが鉄棒」と言うRさん。蓋は公園の敷地になって、乗った道具は公園の遊具になっているのです。Nさんも蓋の縁にカプラを並べて、どんどん公園のようにしていきます。とうとうカプラの公園が完成すると、2人は小さな赤と青の人の積み木を持って、ブランコに乗せてあげたり、公園の中を歩かせていました。まるで2人が本物の公園で遊んでいるかのように積み木を動かしている姿から、とても和やかな雰囲気が出ていました。自ら公園に行って遊ぶのではなく、室内にも小さな公園を作って、さらに公園内をイメージしながらブランコや鉄棒などの遊具を身近なもので見立てて作る発想に面白さを感じた瞬間でした。

今月のsmall alley play ground ピックアップスポット

Ridicule

住所：東京都 渋谷区神宮前 3-31-13 <http://ridicule.jp/>

大学生の時のこと。渋谷駅でふんわり素敵な女性に声を掛けられ、カットモデルをしたことがはじまりでした。原宿の人混みを抜け、迷い込んだような小道に、緑にかこまれた小さなおうちがあります。ここで良いのかな…？と思いながら階段を上ると、美容室とは思えない不思議で、穏やかな空間にたどりつきます。シャンプーなどもオーガニックのものにこだわっています。私にとって、髪も心もほっとできる場所になっています。緊急事態宣言中、美容室に行くのが不安だったのですが、ここに来ればほぼ毎回貸し切り状態。安心して訪れることができます。もし機会があれば、ぜひお試しを…。

